

第 80 回国民スポーツ大会空手道競技新潟県予選会開催要項

- 1 主 催 新潟県空手道連盟
- 2 共 催 公益財団法人 新潟県スポーツ協会
- 3 協 賛 公益財団法人 全日本空手道連盟
- 4 主 管 三条市空手道連盟
- 5 後 援 新潟県教育委員会 三条市 一般社団法人三条市スポーツ協会
(予定)
- 6 期 日 令和 8 年 6 月 7 日 (日)
開場時刻：午前 7 時 30 分 受付：午前 7 時 30 分～
計量：午前 7 時 45 分～8 時 15 分 審判会議：午前 8 時 15 分～
監督会議：午前 8 時 30 分～ コート補助員打合せ：8 時 45 分～
競技開始：午前 9 時
- 7 会 場 三条市体育文化会館 三条市荒町二丁目 1 番 3 号地 TEL(0256)36-0700

8 競技種目

(1) 成年男子組手	(2) 成年女子組手
(3) 少年男子組手	(4) 少年女子組手
(5) 成年男子形	(6) 成年女子形
(7) 少年男子形	(8) 少年女子形

- ・成年男子組手競技は、体重別に次の 3 階級とする。
 - 軽量級 (67 kg に満たない体重)
 - 中量級 (67 kg から 75 kg までの体重)
 - 重量級 (75 kg を超える体重)
- ・その他の組手競技は体重制限を設けない。

- 9 出場資格 出場選手及び監督は新潟県空手道連盟加盟団体に所属し、新潟県空手道連盟個人会員登録及び(公財)全日本空手道連盟個人会員登録済みの者とする。

10 年齢基準

- (1) 成年種目に参加する者は平成 20(2008)年 4 月 1 日以前に生まれた者とする。
- (2) 少年種目に参加する者は平成 20(2008)年 4 月 2 日以後、平成 23(2011)年 4 月 1 日以前に生まれた者とする。
- (3) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、令和 8(2026)年 4 月 1 日を基準とする。

11 審判員

- (1) 審判員は（公財）全日本空手道連盟全国公認審判員及び地区公認審判員並びに新潟県空手道連盟公認審判員により編成する。
 - (2) 出場選手の所属団体は審判員と競技補助員をそれぞれ1名以上帯同すること。審判員を2名以上帯同する場合は競技補助員を帯同しなくてもよい。また、審判を帯同できない場合は競技補助員を2名以上帯同すること。（審判員、競技補助員の帯同は合わせて2名以上とする。）なお、出場選手が5名までの場合はその限りではない。
 - (3) 審判員の年齢は65歳未満とする。なお、審判員の参加状況により委嘱される場合もある。また、審判登録していながら当日審判をしない者が見受けられるので厳に慎むこと。
- ※大会では審判員が不足するため、審判有資格者はなるべく審判員として参加をお願いします。また、競技補助員は団体の指導者等競技規定を熟知している方の帯同をお願いします。

12 競技規定

- (1) 競技は（公財）全日本空手道連盟競技規定により実施する。
- (2) 組手競技は競技規定によるトーナメント方式とする。ただし、出場人数が4名以下の種目は総当たり方式とする。（総当たり戦については全空連盟競技規定 P. 14 参照）
 - ① 競技時間は成年男女とも3分間、少年男女とも2分間とする。
 - ② 勝敗は8ポイント差が生じた場合、または競技終了時に得点の多い選手、同点の場合は競技規定により決定する。
- (3) 形競技は競技規定による旗判定のトーナメント方式とする。
 - ① 1回戦は第1指定形より選択する。
 - ② 2回戦は第2指定形より選択する。
 - ③ 3回戦以降は全空連競技形リストから選択する。
 - ④ 選手は回戦毎に異なる形を演じなければならない。
 - ⑤ 参加者が33名以上の場合、ベスト16まで第1指定形の中から選ばなくてはならない。ただし、同一形でも異なる形でもよい。
 - ⑥ 出場人数が4名以下の場合、2つの形（第1・第2指定形）の合計得点で順位を決定する。
 - ⑦ 第1・第2指定形及び得意形は、空手道競技規程（JKF）の「付録4：指定形リスト」並びに「付録5：得意形リスト」から選択しなければならない。

13 出場人数 出場人数は制限なしとする。

14 監督

- (1) 監督は各団体1名のみ認める。なお、監督の年齢は満18歳以上（高校生を除く）とする。監督登録は出場申込時に行うこととし、当日の変更は認めない。
- (2) 監督は競技中の選手以外は競技場内に入れないこと。また、競技の終了した選手は速やかに退場させること。
- (3) 競技場内へのカメラ、ビデオカメラ等の搬入を禁止する。ただし、報道関係者は主催者の許可を得ることでこれを認める。なお、競技場内は休憩時間を含め、選手・監督・役員

以外は入場を禁止する。

15 服 装

- (1) 出場選手は全空連競技規定第2条〔服装〕に規定された白の空手道衣を着用し、左胸に登録団体名を記入した胸章（縦20 cm×横10 cmの白地）を付けること。なお、胸章以外に道着の裾にネームが入っていてもかなわない。（国際大会では禁止）
また、流派、会派、道場名等のマークの使用は一切認めない。
 - ① 空手着の首襟元、右胸の製造業者商標マーク（ロゴマーク）については可とする。ただし、肩のメーカー刺繍入りの空手着は認めない。
- (2) 赤帯・青帯は各自で全空連検定の帯を用意して着用すること。主催者では用意しない。
なお、帯にネームが入っていても構わない。（国際大会では禁止）
- (3) 負傷によるテーピングの使用は大会医師の診断に従い、主審の許可を受けなければならない。（競技規定第2条〔服装〕）ただし、初戦においては国体に準じてテーピングの使用は認めない。
- (4) 監督は白の空手道衣を着用すること。また、流派、会派、道場名等のマークの使用は一切認めない。空手道衣を着用しない監督は競場へは入場できない。

16 安 全 具

- (1) 組手競技においては、危険防止のため全空連承認の安全具（ニューメンホー〔VI、VII〕、拳サポーター〔赤・青〕、マウスピース〔任意とする〕、セーフティカップ〔男子のみ〕、ボディプロテクター、チェストガード〔女子のみ〕、インステップガード・シンガード〔赤・青〕）を使用すること。ボディプロテクター、インステップガード・シンガードはWKF検定品も可とする。チェストガードはWKF検定品とする。
- (2) 少年男子及び少年女子の組手競技については高体連指定品のボディプロテクター、インステップガード・シンガードの使用も可とする。
なお、少年女子のチェストガードの着用は任意とする。
- (3) マウスピースを使用する場合は透明もしくは無色のものとする。短く改造して競技中に口腔より容易に脱落するようなものは使用不可とする。

17 選手選考 国スポ選手は新潟県空手道連盟選手等選考規程により選出する。（別紙参照）

18 出場参加費

- (1) 大会出場参加費は次のとおりとする。

少年	1種目 3,000円	2種目 6,000円
成年	1種目 6,000円	2種目 12,000円

- (2) 出場参加費は次の指定口座へ「団体名」で振り込むこと。（個人名での振り込みでは振り込み団体の確認が出来ないため）
なお、参加中止による返金はしない。振り込み手数料は自己負担とする。

えちご中越農業協同組合 三条支店 普通 0046712

にいがたけんからてどうれんめいたいかいとくべつかいけい じむきょく のみず ゆうじ
新潟県空手道連盟大会特別会計 事務局 野水 雄二

(3) 送金後、必ずメールまたはFAXで次の情報を伝えること。記録の残らない電話は不可。

- ① 団体名
- ② 振込者名
- ③ 大会名 : 第80回国スポ予選会
- ④ 振込日
- ⑤ 金額

19 提出書類 大会出場申込書（エクセルファイル）をメールに添付して送信すること。
なお、大会申込書はメールのみ受け付ける。FAX、郵送では受け付けない。
※大会出場申込書（①出場参加申込書、②出場参加費納付書）

20 提出期限 令和8年5月7日（木）必着。
定められた資格条件でない者、提出書類の不備、および提出期限を過ぎた場合は出場を認めない。

21 提出先 新潟県空手道連盟大会出場受付アドレス宛
E-mail : taikai@jkf-niigata.net

【問い合わせ先】〒955-0032 三条市東大崎2丁目8番71-7号
新潟県空手道連盟大会事務局 野水雄二
TEL/FAX : (0256) 38 - 7055
E-mail : taikai@jkf-niigata.net

22 障害処置

- (1) 選手は各団体の責任の下でスポーツ傷害保険等に必ず加入のうえ出場すること。
- (2) 選手が試合中に負傷した場合は、主催者において応急処置を行うが、不慮の事故等については一切の責任を負わない。選手は必ず保険証を持参すること。

23 その他

- (1) 抽選は新潟県空手道連盟事業部会において行なう。
- (2) 第50回北信越空手道選手権大会（組手競技）と、第47回北信越国民スポーツ大会空手道競技会（形競技）は、7月18・19日（土・日）長野県立武道館において開催される。また、第80回国民スポーツ大会空手道競技は10月17～19日（土～月）青森県立武道館で開催される。
- (3) 選手はアマチュアスポーツのあり方（公益財団法人日本スポーツ協会制定）を遵守する

こと。

アマチュア・スポーツマンは

- ① スポーツを愛し、楽しむため、自発的に行う。
 - ② ルールに従い、フェアプレーに終始する。
 - ③ 常に相手を尊重しつつ、自己の最善をつくす。
 - ④ スポーツを行うことによって物質的利益を求めない。
 - ⑤ スポーツによって得た名声を利用しない。
- (4) 出場選手は本予選会により「第 50 回北信越空手道選手権大会（組手競技）」、「第 47 回北信越国民スポーツ大会空手道競技会（形競技）」「第 80 回国民スポーツ大会空手道競技」に出場権を得た場合、特段の理由（突発的な病気、怪我等の事故等）による以外の出場辞退は認めない。